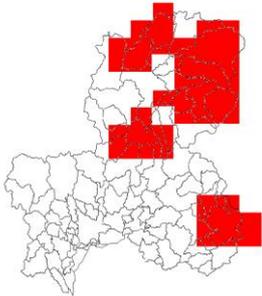


ホソバツルリンドウ	<i>Pterygocalyx volubilis</i> Maxim.	絶滅危惧 I 類
(環境省:絶滅危惧 II 類)		リンドウ科
選定理由	生育地が限定されているうえ、個体数が少ない。	<p>写真(高橋弘)</p>  
形態の特徴	茎は長さ50-100cm。葉は線状披針形から狭披針形、全縁。花期は9-10月。葉腋から出て下向きに開く。萼は長さ約2cm、裂片の切れ込みの深さは背腹性があり、3個の間では短くて約1mm、他の間は約1cm。花冠は淡青紫色、筒部の長さ2.5-2.8cm、裂片部の長さ0.5-0.8cm。	
生態的特徴	冷温帯の草原や山の明るい急斜面などに生育する。花期は9-10月。	
分布状況	極東域に分布し、日本では北海道から四国まで生じる。岐阜県では県北と県南東部の標高800-1200mの地域に分布する。	
減少要因	道路工事を含む開発による生育地の破壊と、山草愛好家による採取。	
保全対策	生育地の保全と採取の禁止。	
特記事項		
参考文献		

文責:高橋弘